

## 「フクロウの巣箱」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢にある私の山小屋には、自動給餌装置付きのバードテーブルがあって、さまざまな野鳥がやってくる。ちょっと数えてみても、シジュウカラ・コガラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・ヤマガラ・シメ・イカル・カワラヒワ・アカゲラ・・・それに毎朝リスもやってくる。餌台にはインターネットでコントロール可能な一眼レフカメラが設置されていて、東京からもコンピュータや携帯電話で野鳥の観察ができる。



数年前、敷地内のカラマツに幹にかけた、大きな巣箱に、フクロウが営巣を始めた。巣箱設置には専門家の指導をいただき、内部には赤外線カメラも設置されている。抱卵や孵化、それに給餌の様子、それに大きくなったフクロウのヒナがネズミを丸飲みする瞬間まで、巣箱の中の状況は東京からでも手に取るようにわかり、教室のモニターで見ていた子どもたちも、毎日目を輝かせて観察していた。

抱卵から巣立ちまでの観察記録を、少しずつ掲載したいと思う。



「新緑の森のフクロウ巣箱」 巣立ちの近いヒナが顔をのぞかせている 北軽井沢